

体験

してみよう

演劇法

を

その身体技法

カンパニーデラシネラ
小野寺修二
演劇
ワークショップ
参加者募集!

ダンスと演劇のフィールドを駆け回る、
カンパニーデラシネラの小野寺修二。

その身体技法、演劇法を
体験してみませんか!!

まずはお試しから。
初心者大歓迎です。

小野寺修二 Shuji Onodera 略歴
演出家。カンパニーデラシネラ主宰。
日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。
95年~06年、パフォーマンスシアター
水と油にて活動。その後文化庁新進芸
術家海外研修制度研修員として1年間
フランスに滞在。帰国後、カンパニー
デラシネラを立ち上げる。作品はマイム
の動きをベースに台詞を取り入れた
独自の演出で、世代を超えた観客層の
注目を集めている。ダンスと演劇の
フィールドを様々なに駆け回る活動は
とても紹介しきれないので作品紹介
などは裏面をどうぞ!

2023/11/25(土)14:00-18:00

会場 リューとぴあ 能楽堂ホワイエ
講師 小野寺修二
定員 先着15名(高校生以上)
参加費 高校生1,000円 一般2,000円
お申込み 申込フォーム <https://forms.gle/LWWscCzZd2kMu9ebA>

から、下記必要事項をご記入
いただきお申込みください。
こちらからもアクセスできます▶

〈1〉氏名、〈2〉郵便番号・住所、〈3〉電話
番号、〈4〉メールアドレス、〈5〉年齢、〈6〉
職業(学校名)、〈7〉演劇経験(ある場合
はその内容を簡単にお願いします)
※インターネットをご利用にならない方はお電話で
お問合せください。

受付開始 2023/9/8(金)
※お申込みいただいた全ての方へ、1週間以内に
返信いたします。お申込み後、期日までに返信
が届かない場合は、下記お問合せ先までご連絡
ください。

お問合せ リューとぴあ事業企画部
TEL025-224-7000
(平日10:00~18:00/休館日除く)

主催 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

カンパニー
デラシネラ

小野寺修二

略歴では収まりきれないご紹介

演出も、振付も、俳優としても

自身が主宰するカンパニーデラシネラでの作品創作のみならず、演出、振付、ステージング、俳優として様々な舞台に関わっています。

主宰するカンパニーデラシネラでの活動

デラシネラでは大人も子どもも楽しめる古典名作劇場と銘打ち『ロミオとジュリエット』(11年)、『ドン・キホーテ』(17年)[20年りゅうとぴあでも上演]、『はだかの王様』(21年)[23年1月りゅうとぴあでも上演]を創作するほか、『ふしぎの国のアリス』(17年・22年新国立劇場他)、カンパニーの国際共同制作として『TOGE』(21年神奈川芸術劇場)、『Hourglass』(22年北とぴあ)など。

演出家として

デラシネラ以外の演出作品として、りゅうとぴあプロデュース『オフェリアと影の一座』(16年)、現代音楽集IX『竹取』(18年シアターラム他)ほか多数の舞台を手掛ける。

振付やステージング

さらに様々な音楽劇や演劇で振付やステージングを担当し、2022年だけでもシス・カンパニー公演『ミネオラ・ツイنز』(1月)、『ザ・ウェルキン』(7月)、パルコ・プロデュース2022『セールスマンの死』(4月)、『桜文』(9月)、KERA・MAP #010『しびれ雲』(11月)[12月にりゅうとぴあでも上演]と数多くの舞台に携わる。2010年度に第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞を受賞。

学校公演、野外劇、大河ドラマに

小中学校巡回公演など次世代へのアプローチにも積極的に取り組む他、ダンストリエンナーレトーキョー2012にて『ロミオとジュリエット』、瀬戸内国際芸術祭2013にて屋外劇『人魚姫』を発表するなど劇場内にとどまらないパフォーマンスを行う。2022年10月には東京芸術祭2022野外劇『嵐が丘』を上演。2015年度文化庁文化交流使。2021年NHK大河ドラマ『青天を衝け』にて、北大路欣也扮する徳川家康周辺の振付を担当。俳優としても2022年にも再演された東京芸術劇場『気づかいレーシー』で岸井ゆきの、栗原類らと共演しています。

